

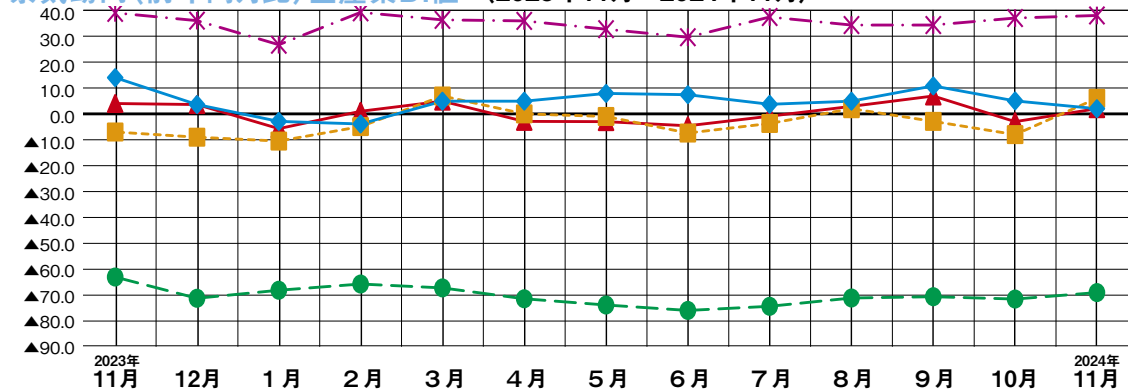
【11月の概要】

直近の景気感を示すDI値は、「採算」が14.0ポイント、「業況」が5.0ポイント、「仕入単価」が2.5ポイント改善。なかでも「採算」は特に大幅に改善しており、3か月ぶりにプラス水準へと転じた。一方で「売上」は▲3.0ポイントと改善の動きに一服感が見られた。「従業員」は人手不足局面へと1.0ポイント悪化した。

先行き見通しを示すDI値は、「採算」が6.0ポイント、「業況」が9.0ポイント改善。「売上」は前月比▲4.0ポイントとなったが、依然として好調を維持している。「従業員」は前月比横這いであり、人手不足感に改善の兆しが見えない。

コメントからは、引き続き人手不足を課題に挙げる事業所は多く、企業活動が制限され、売上機会の損失につながっているケースが多く見受けられた。また、アメリカ大統領選後の日本への影響を不安視する声も寄せられた。

景気動向(前年同月比) 全産業DI値 (2023年11月～2024年11月)



	全産業平均DI値					向こう3か月間の先行き見通しDI値				
	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
9月	10.8	▲2.9	6.9	▲70.6	34.3	20.6	2.0	6.9	▲46.1	30.4
10月	5.0	▲8.0	▲3.0	▲71.5	37.0	13.0	▲5.0	▲5.0	▲46.0	31.0
11月	2.0	6.0	2.0	▲69.0	38.0	9.0	1.0	1.0	▲37.0	31.0

晴れ (30≤DI)
 曇りのち晴れ (15≤DI<30)
 曇り (0≤DI<15)
 曇りのち雨 (▲20≤DI<0)
 雨 (DI<▲20)

寄せられた主なコメント

建設業	仕入単価が安定しない状況が続いていることに加え人件費も高騰しているが、顧客離れが生じる恐れがあるため、工費の値上げは難しい。(設備・管工事業) 技術者不足が慢性的に生じており受注の確保が難しい。また社員の高齢化もあり、人員の採用ならび将来の担い手育成が急務。(管工事業)
製造業	アメリカ大統領選が終わり、日本にはどのような影響があるのか。(印刷)
卸売業	借入金利が上昇し資金繰りを切迫させてきている。また、今後仕入単価の上昇が予定されている。(和洋紙・紙製品) 値上げによる売上増加は見込めるが、ランニングコストの上昇で純利益は確保しにくい。(コーヒー)
小売業	8月までの業況と違い9月以降は動きが活発になってきた。(印刷・印鑑・雑貨)
サービス業	アメリカ大統領選挙の結果は、金融市場や貿易、エネルギー政策や安全保障など様々な要因を通じて世界経済に波及するため、先行きについては楽観視できない。(運輸) 乗務員不足が全体の売上を落とし込み、最低賃金改定が業績の足を引っ張る。(タクシー) 開発案件の引き合いはあっても技術者不足により受託できず、売上増加に繋がれない状況が続いている。(情報処理サービス)

工場・倉庫・HACCP 対応食品工場の建築おまかせください！！

cosmo コスモ建設株式会社
システム建築事業部

コスモ建設(株)
で検索

プラン図
概算見積
無料

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 2-2-25
TEL: 025-245-7111 FAX: 025-245-7119
メールアドレス: info@cosmo-k-co.com

※日鉄物産システム建築(株)の施工会員です。

プラン
への
対応性

建築コスト
の
低減

システム建築で
事業課題に
お応えします。

建物の
信頼性

工期の
短縮